

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72・0332）

思い出を胸に残して

久住分校記念碑除幕式



記念碑に書かれた久住分校の歴史に見入る出席者



立派な記念碑が建立された

12月26日、久住地区住民や町関係者らが出席し、黒坂小学校久住分校跡地で記念碑除幕式が開かれました。

久住分校は、明治8年に民家での寺子屋式教育が始まりで、明治20年に久住尋常小学校、明治23年に黒坂小学校久住分校教場と、およそ140年の歴史があります。昨年10月、児童の減少や校舎の老朽化で、惜しまれつつ廃校となり、昨年11月に校舎の解体工事が行われ、今は更地となっています。

除幕式では景山町長が「歴史ある久住分校が廃校となり、残念。思い出の地として心に残してください。解体できた広い跡地を、皆さんで有効に活用してほしい」と、あいさつしました。

また、自治会長の谷重信さんは「長い間休校となっていたため廃校は時代の流れ。記念碑の建立で、思い出話ができます」と話しました。会場では、参加者らが楽しかった学校生活など、思い出話に花を咲かせました。

手打ちそばで年を越そう

里山元気塾手打ちそば教室



そばを細く切れるかな

自分で打ったそばを食べて年を越そうと、12月31日の大みそか、上菅の菅福食文化伝承館で、年越しそばの手打ち教室（里山元気塾主催）が開かれました。

毎年恒例となっている教室には、町内外から多くの人が参加。中には毎年参加している人もあり、手際よくそばを打つ姿が見られました。そば打ちで重要な練る作業に汗をながしながら、1年を振り返る話を楽しむ参加者もあり、にぎやかな教室となりました。

町外から参加した小学生は「練る作業が大変だったし、そばを切るのも難しかったけど楽しかった。早く食べた」と、笑顔を見せました。



会話を楽しみながら、そば粉を練る

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72-0332）



午前0時をまわり、参拝者でにぎわう金持神社



竹灯籠1本1本に点灯する黒坂3区の皆さん

新年を笑顔で迎える

黒坂3区竹灯籠・金持神社常夜祭

12月31日の大みそかから元旦にかけて、黒坂3区自治会（柴田滋自治会長）が、聖社の参道に手作りの竹灯籠60本を点灯しました。雪が積もった参道は幻想的な雰囲気にも包まれ、立ち止まって見入ってしまうほど。

地域を元気にしたいと毎年恒例となっている竹灯籠の点灯に、自治会長の柴田さんは「今年は聖神社の石灯籠にも火がついたので、より一層良くなった」と笑顔を見せました。

また、金持神社では、12月31日の大みそかの午後10時から元旦の朝にかけて、夜通し参拝客を迎えようと、町観光協会（小谷澄男会長）が常夜祭を行い、金持神社参道に石灯籠が点灯されたほか、札所（売店）も開けられ参拝者を迎えました。

新年が開けると、町内をはじめ、広島や岡山などから多くの参拝者が初詣でに訪れ、家族や友人たちと金運・開運祈願をする姿が見られました。

元気に新年を迎えてね
国際交流協会がもちを贈る



クリスマス会で子どもたちにプレゼント

日野国際交流協会（小谷博徳会長）が、会員でついたもちを贈る年末のもちつき交流を、12月10日にひのっこ保育所と、12月21日に子育て支援室おひさまひろばと行いました。

ついたもちは、白のほか、ホウレンソウを入れた緑、カボチャを入れた黄色、ニンジンを入れた赤、ムラサキイモの紫と5色。「元気に年末年始を迎えてください」とプレゼントしました。

贈られたもちは、保育所ではその日の3時のおやつで、子育て支援室ではクリスマス会の昼食で食べました。

日野町公舎の改修が終わりました
ご活用ください



改修していた日野町公舎（根雨）が完成しました。明治初年ごろに建てられた当時の様子をほぼ再現し、風情がある造りになっています。

これまで使うことができなかった2階も畳を敷き直すなど、生まれ変わっていますので、ぜひ、ご活用ください。

利用申込みは、役場住民課（電話72-0333）までお電話ください。